

避難訓練 (R6.5.24)

○本日の火災避難訓練、テストのあとにも関わらず、よくがんばりました。本日の訓練の目標はたくさんありますが、1番大事なことは、皆さんが自分自身の命を守ること、そのために実施しています。頭の中だけでなく行動することで、実感してもらうことが大切です。消防署からも職員の方々が駆け付けてくださいました。お忙しいところ、本当にありがとうございます。

○消防の方々からほめていただきました。よかったですね。避難中、話し声はあったものの、速やかに行動できていました。今も暑い中にもかかわらず、話をきく姿勢が整っています。すばらしい。

○1つクイズをだします。

○先生から、「おはしもち」という言葉で、避難のポイントを覚えてもらったと思います。今でこそ、5文字になっていますが、最初は、「おはし」でした。この言葉、何がきっかけで作られたかでしょうか。

○ヒント1 このきっかけとなったできごとが起きたときは、校長先生は大学生でした。

○ヒント2 2年生の宿泊学習にも関連します。

わかりましたか。この標語は、阪神・淡路大震災がきっかけでした。

地震だけの被害でも大変なのに、その直後に大規模の火災が起きて、本当に多くの尊い命が失われました。校長先生にとっても、とてもつらい思い出の1つです。その後、消防庁が小学校の低学年の生徒を対象として避難訓練用の標語としてこの言葉をつくったといわれています。

○この言葉にどんな思いがこめられているのでしょうか。想像してみてください。助けようと思っても助けられなかった尊い命があったことから、生まれた言葉です。私たちは、過去は変えられませんが、過去から学ぶことで、未来を変えることはできます。

○話を戻します。「おはしもち」の言葉の意味も考えたいうえで、それぞれが自分なりに真剣に行動できたかどうか、ふりかえりを必ずしてください。担任の先生、クラスでの交流、どうぞよろしくお願いします。